

プラチナ・シリーズ 3

～スペシャリストによるバロックの夕べ～



© MICHIIRO BABA



© anneliesvanderveg



© Marco Borggreve



© Marco Borggreve



© Shigeto Imura

鈴木優人&バッハ・コレギウム・ジャパン アンサンブル

2022年
(令和4年)

12月7日

水
Wed

19:00

開演 (18:30開場)
Start (18:30 Open)

東京文化会館 小ホール
Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

出演

鈴木優人 (チェンバロ)
三宮正満 (オーボエ)
山本 徹 (チェロ)

SUZUKI Masato, Harpsichord
SANNOMIYA Masamitsu, Oboe
YAMAMOTO Toru, Cello

鶴田洋子 (フラウト・トラヴェルソ)
若松夏美 (ヴァイオリン)

TSURUTA Yoko, Baroque flute
WAKAMATSU Natsumi, Violin

曲目

テレマン: 『ターフェルムジーク』 第1集より 四重奏曲ト長調 TWV43:G2
～フルート、オーボエ、ヴァイオリン、チェンバロのための

J.S.バッハ: ソナタ 短調 BWV1020 ～オーボエとチェンバロのための

J.S.バッハ: 『音楽の捧げもの』 BWV1079より

3声のリチェルカーレ～チェンバロのための

トリオ・ソナタ ハ短調～フルート、ヴァイオリン、チェロ、チェンバロのための

6声のリチェルカーレ～フルート、オーボエ、ヴァイオリン、チェンバロのための

TELEMANN: Musique de table, Vol.1-Quartet in G major,
TWV43:G2 for Flute, Oboe, Violin, and Harpsichord

J.S.BACH: Sonata in g minor, BWV1020 for Oboe and Harpsichord

J.S.BACH: from Musikalisches Opfer, BWV1079

Ricercar a 3 for Harpsichord

Trio Sonata in c minor for Flute, Violin, Cello, and Harpsichord

Ricercar a 6 for Flute, Oboe, Violin, and Harpsichord



【9月3日(土)発売】全席指定

5,500円 A 4,400円 B 2,750円 25歳以下(全席共通/要証明書) 1,100円

※B席・25歳以下席は東京文化会館チケットサービスのみ取扱。

※東京都のガイドライン等に基づき販売いたします。収容定員制限と販売状況に応じ、今後販売を停止する場合がございます。

予めご了承ください。

※最前列はA列です。

※発売日には全席を販売します。

※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※託児サービス(要予約・有料・定員あり・11/30(水)17時締切)があります。 イベント託児・マザーズ: 0120-788-222

お申込み

東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650 t.bunka.jp

チケットぴあ
t.pia.jp

イープラス
eplus.jp/t-bunka/



〈公演詳細はこちら〉

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用や検温など、ご理解とご協力をお願いしております。「東京文化会館へご来場される皆さまへのお知らせとお読みの上、ご来場くださいませよう願いたします。」
t-bunka.jp/info/5673/



バッハ・コレギウム・ジャパンとして初めて東京文化会館で演奏できることを心から嬉しく思います。
バロック時代の様式に基づいたピリオド楽器による、親密に語りかけるような器楽のアンサンブルをお楽しみいただきたいと思います。特に後半に演奏する「音楽の捧げ物」はバッハの対位法の技を尽くした最高峰の音楽作品であり、譜面を眺めるだけでも感動してしまうほどの芸術遺産です。その作品を素晴らしい音楽家と奏でることができ、こんな幸せなことはありません。会場にて皆さんとお目にかかれるのを楽しみにしております。

鈴木優人

SUZUKI MASATO & BACH COLLEGIUM JAPAN

鈴木優人 & バッハ・コレギウム・ジャパン アンサンブル



鈴木優人 (チェンバロ)

東京藝術大学卒業及び同大学院修了。オランダのデン・ハーグ王立音楽院修了。令和2年度(第71回)芸術選奨文部科学大臣新人賞、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第18回ホテルオークラ音楽賞、第29回(2021年度)渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指揮者、読売日本交響楽団指揮者／クリエイティヴ・パートナー、アンサンブル・ジェネシス音楽監督。指揮者としてNHK交響楽団、読売日本交響楽団等と共演するほか、本年4月にはドイツ・ハンブルク交響楽団に客演。鈴木優人プロデュース・BCJオペラシリーズ、モンテヴェルディ：歌劇《ボッペアの戴冠》(2017)、ヘンデル：歌劇《リナルド》(2020)ではバロック・オペラの新機軸として高く評価され、後者は第19回佐川吉男音楽賞を受賞。2022年5月のグルック：歌劇《オルフェオとエウリディーチェ》(勅使河原三郎新演出)で新国立劇場に指揮者として初登場。NHK-FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演するほか、テレビ朝日系列「題名のない音楽会」などメディア出演も多い。録音はBCJとのJ.S.バッハのチェンバロ協奏曲集(BIS)、アントワン・タメスティとのデュオ(Harmonia Mundi)など多数。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー。作曲、編曲はもとより、バッハの喪失楽章の復元も多数手がける。ブルーノート東京にも定期的に出演するなど、その活動に垣根はなく、各方面から大きな期待が寄せられている。九州大学客員教授。

鶴田洋子 (フラウト・トラヴェルソ)

2010年よりバッハ・コレギウム・ジャパンに参加。国内定期公演他、国内外のコンサート、フェスティバルに多数出演。ルドルフ・フルツ氏の主宰するスイス・バッハ財団のレコーディング、コンサートに定期的に出演。鈴木雅明、鈴木優人とのデュオも好評を得ず。東京藝術大学およびオランダ・アムステルダム音楽院卒業。モダン・フルートを金昌国、ハリー・スタレフェルドに、フラウト・トラヴェルソを前田りり子、菅きよみ、マルテン・ロート各氏に師事。

三宮正満 (オーボエ)

武蔵野音楽大学卒業。ブルージュ国際古楽コンクール第2位受賞。1996年より「バッハ・コレギウム・ジャパン」J.S.バッハ＝カンタータ全曲レコーディングに参加し、ソリストとしてカーネギーホール、ブラハの春音楽祭などに出演。2008年より田村次男氏と共にオーボエ製作を始め、ライブツィヒの名工アイヒェントプフ作のオーボエを復元し、国内外で演奏されている。ソリアルバム「ヴィルトウオーソ・オーボエ」「19世紀バリのオーボエ作品集」「ヴィダーケア・デュオソナタ集」をリリース。現在「バッハ・コレギウム・ジャパン」「オルケストル・アヴァン＝ギャルド」首席オーボエ奏者、東京藝術大学古楽科講師。「Les Vents Romantiques Tokyo」主宰。

若松夏美 (ヴァイオリン)

桐朋学園大学音楽学部卒業。在学中より古楽に興味を持ち、バロック・ヴァイオリンの演奏を始める。デン・ハーグ王立音楽院にてバロック・ヴァイオリンをギスヴァルト・クイケン氏に師事。1985年演奏家ディプロマを得て同校を卒業。ラ・プティット・バンド、18世紀オーケストラなどのオーケストラのメンバーとして数々の演奏会、録音に参加した。現在、バッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカのコンサート・マスター。18世紀オーケストラ(オランダ)のメンバー。BISおよびアルテ・デラルコにモーツァルト、ハイドン、ボッケリーニの室内楽、協奏曲など録音。2017年秋アルテ・デラルコからバッハ「無伴奏ヴァイオリンのソナタとパルティータ全曲」をリリース。東京藝術大学古楽科非常勤講師。

山本 徹 (チェロ)

東京藝術大学大学院古楽専攻及びチューリヒ芸術大学修了。2008年第16回ライプツィヒ国際バッハ・コンクール第2位、2011年ブルージュ国際古楽コンクール審査員賞、ファン・ヴァッセナール国際コンクール優勝。2010年度文化庁新進芸術家海外研修員、2011年度ロームミュージックファンデーション奨学生。バッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカのメンバー、オルケストル・アヴァン＝ギャルド及びブロムジカ使節団の首席奏者。東京藝術大学での集中講義やシンガポール国立大学音楽院でのマスタークラス講師、また2006年に第2位受賞の国際古楽コンクール(山梨)では2017年に審査員を務める。

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩な公演を実施する《Enjoy Concerts!》、海外の芸術機関や国内外の教育・社会福祉機関等と連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。

2023年1月11日(水) 19:00開演

ディオティマ弦楽四重奏団

～精緻の極限、さらにその先へ～

プラチナ・シリーズ 4



© lyodoh kaneko

出演 ユンベン・チャオ(第1ヴァイオリン) レオ・マリリエ(第2ヴァイオリン)
フランク・シュヴァリエ(ヴィオラ) ビュール・モルロ(チェロ)

曲目 ユームリンスキー：弦楽四重奏曲第1番 4長調 Op.4
ブラームス：弦楽四重奏曲第2番 4短調 Op.51-2 他

チケット発売日：10月8日(土)

2023年2月12日(日) 15:00開演

今井信子

～世界を牽引し続けるヴィオラ奏者～

プラチナ・シリーズ 5



© Mariko Borggreve

出演 今井信子(ヴィオラ) 伊藤 恵(ピアノ)

チケット発売日：11月12日(土)

全席指定
S 5,500円 A 4,400円 B 2,750円
25歳以下(全席共通/要証明書) 1,100円

